

THE WINGS No.7

令和元年度
輪島中学校 3 年
学年通信 R1.9.2

感動をありがとう！



熱気あふれる
初めての甲子園
佐野みどり 23歳
(野々市市・会社員)
星稜高校の熱戦から数日
がたちましたが、今でも甲
子園のテーマソングを聞く
たび高校球児たちのキラキ
ラした表情が思い浮かびま
す。決勝戦は甲子園で応援
させていただきました。
初めての甲子園球場は、
熱気あふれる雰囲気です。試
合開始前でさえ、すれ違う
人々が「よし、やるぞ」と
やる気に満ちあふれていま
した。さすが、夢の舞台だ
と感じさせてくれる瞬間で
もありました。



勝ち負けはもちろんだ大事
ですが、星稜高校野球部の
試合をどのチームよりも楽
しむつもりで応援に感動し
ました。「必笑」は応援し
ている私たちにも笑顔を届
けてくれました。テレビで
録画した高校野球を何度も
見返す毎日が今、私の至福
の時間です。感動を本当に
ありがとうございました。

この夏の出来事と言えば、やはり星稜高校が成し遂げた、第101回全国高等学校野球選手権大会の準優勝でしょう。石川県民が自分のことのように喜んだ素晴らしい星稜高校の活躍でした。

この準優勝が成し遂げられたのは、石川県大会で石川県のチームが星稜を簡単に優勝させなかったことも一つの勝因だったかもしれません。石川県大会優勝直後、奥川君はインタビューで、「どのチームも強く、もし負けて甲子園にいけなかったら…等、大きなプレッシャーにおしつぶされそうになり辛かった。でも、ここまで練習してきたことを信じて投げぬきました」と、号泣しながら語っていました。甲子園では、負けたチームの思いも背負って、1戦1戦気迫の投球で勝ち上がってくれました。1つのことを乗り越えた達成感は、人を大きく成長させてくれるのでしょ。

輪島中学校の3年生の皆さんも、部活動最後の大会では、いろいろなドラマがありましたね。女子テニス部が優勝候補の中能登に勝ったのは、3年生が声がかかるまで応援し、選手もベンチも一つになって中能登に挑んだことが、相手に伝わったからだと思います。他にも、宿敵ライバル校に勝った部活、北信越や中部日本大会等の次のステージに進み、見たことのない景色を見て成長した部活、惜敗し、心の底から悔しい思いをした部活、「もうちょっと練習しとけば」と悔いが残った部活など、みなさんにとってこの経験は、かけがえのない宝物となったはずですよ。

自分のため、チームのため、応援してくれた家族のために頑張ったこの達成感を、受験という次のステージでも味わってほしいし、深めてほしい。 **達成感のルー！**

まずは **部活の目標 ⇒ 受験の目標**に切り替えることから。

必ず成し遂げる、やりきる、俺(私)に越えられない壁はない、あなたならできる。

やる気のスイッチを入れるのは自分しかいません。

この夏、塾通いを始めた人、夏期講習に参加した人、模試を受けた人、体験入学にいくつも足を運んだ人等、進路に向けて動き出した人がいます。 **さあ、2学期がよいよスタートです。**